

# なつやすみ 1



# ぼくのとちもだち えんぴつくん

西尾 中畑小・一  
いながき とうま

ぼくにはお気に入りのおえんぴつがある  
学校ではじめて字をかけた  
えんぴつだ  
あたらしいクラスにあたらしい  
つくえ  
どきどきしているぼくの気もちを  
おちつかせてくれた  
ぼくのお気に入りのえんぴつ  
じゆぎょうのときも  
しゆくだいをするときも  
えをかくときもいつもいっしょ  
こくてはつきりしたくろいろで  
ぼくの字をじょうずに見せてくれる  
だからぼくはじしんをもって  
名まえをかくことができるんだ

でもかけばかくほど  
ぼくのお気に入りのえんぴつは  
小さくなる

そのえんぴつとはもうばいばい  
しようか

ママがいった  
ぜったいいやだ  
ぼくはなきながらいう  
おなじえんぴつをかってあげるから  
ママがなぐさめながらぼくにいう  
それでもぼくはかなしくてさみしくて  
なくことしかできなかつた



だっていつもいっしょにいたから  
字をおぼえることができたのは  
えんぴつくんのおかげなんだ  
ぼくのたいせつなともだちなんだ

そしたらママが  
ながいキヤップをかってきてくれた  
キヤップをつけたらえんぴつくんは  
さらにかっこよくなった

まだまだかけるよ  
これからもよろしくね  
えんぴつくん

文詩集『みかわの子』第61号より

## おうちのかたへ

子どもたちが、待ちに待った夏休みになりました。

長期の休みでなければ手がけることのできない継続観察などの貴重な体験は、おうちの方々の適切な助言や心づかいによって、いっそう効果を高めることができます。

無理のない計画を立て、夏休みの過ごし方を工夫していただければ幸いです。

表紙の絵は、令和五年度「みかわ彩発見絵画コンクール（春・夏の部）」最優秀賞愛教大附属岡崎小学校一年岩井進次朗さんの作品「おにいちゃんとのたのしいプール」です。

# なつあつみのせりか

きそくただしく すごす ために たいせつな ことについて  
おうちの ひとと はなしあいましょう。

- 1 はやおきを しましょう。 2 あさごはんを たべましょう。  
( じ ふん)



- 3 ゲームや タブレットなど 4 はやく ねましょう。  
の やくそくを きめましょう。 ( じ ふん)





# なかまづくり

1 おなじ なかまを  で かこみましょう。



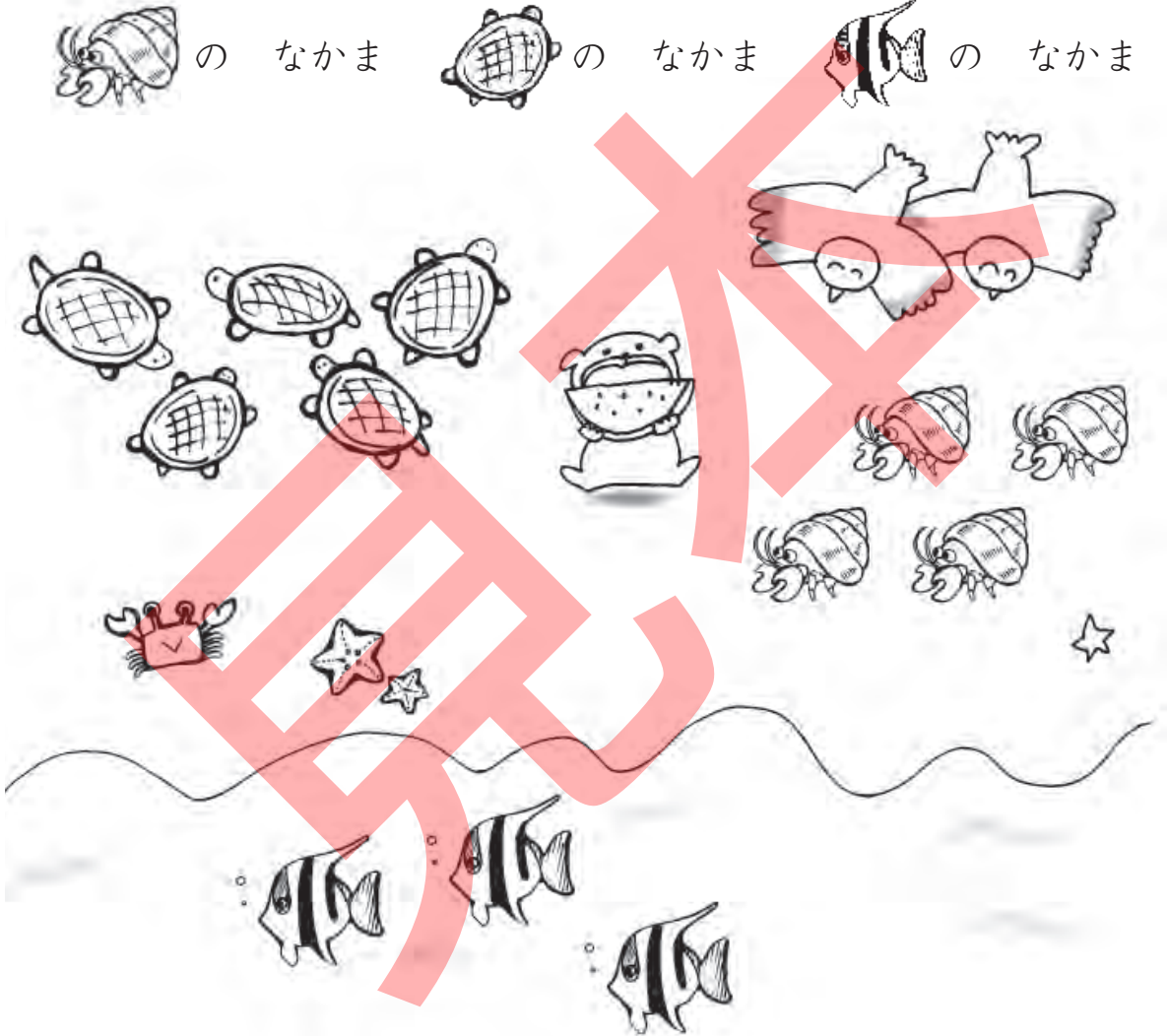
の なかま



の なかま



の なかま

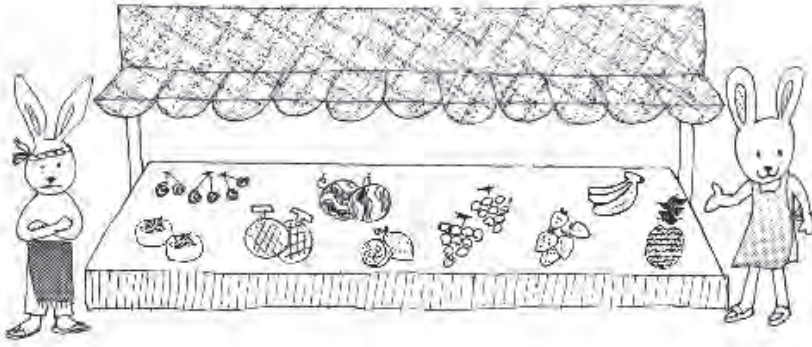


2 なかまの かずを すうじで かきましょう。

(1)   ひき

(2)   ひき










(3)   ひき



# くだものやさんの

# しなものの

くだものやさんの しなものの じが きえて  
 しまいました。えを みて きえて しまった  
 じを かきましよう。

(9)	(7)	(5)	(3)	(1)		(2)
い	な	ぶ	ん	か		く
っ						ぼ
	(8)	(6)	(4)			
	ん	ご	い			
						

# みずあそび

みずの なかを あるいたり ういたり もぐったりして  
あそんで みよう！ どんな ことが できるかな。



## かおを ぽっちゃん

てで おいけを つくって、その なかに  
かおを つけて みよう。



## じゃんけん れっしゃ

じゃんけんを して、まけたら うしろに  
ついて あるいて みよう。



## ぶく ぶく ぱっ

みずの なかで いきを はいてみよう。  
おおきな くちを あげ、「ぱっ」と いきを  
すって みよう。



## すいちゅう じゃんけん

かおを みずに つけ、みずの なかで  
じゃんけんを して みよう。



## だるま うき

ひざを かかえて だるまの ような  
かっこうで ういて みよう。

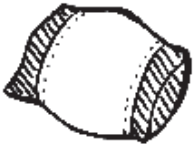
がつ

にち

ようび

(4)

ま
く
ら



ま
く
ら



(3)

ひ
と



ひ
と



(2)

ま
ち



ま
ち

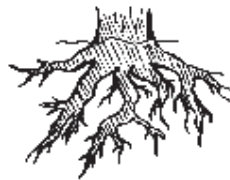


(1)

ね
こ



ね
こ



# ちいさい「つ」のつくじ

えをみて、のじをなぞりましょう。  
 またうえのことばにちいさい「つ」を  
 たして、ちがうことばにへんしんさせま  
 しょう。

# よんでみよう

よんだ ほんで おもしろかった  
ところを えに かいて みましよう。

こんな ほんも いいですよ

○「とべバッタ」

たしま せいぞう 作・絵 (偕成社)

○「どれみふあけるけろ」

ひがし くんぺい 作・絵 (あかね書房)

○「むしの あいうえお」

いまもり みつひこ 作 (童心社)

○「やさしいの おなか」

きうち かつ 作・絵 (福音館書店)




ほんの だい




# すうじのおけいこ


-----で かかれた すうじを なぞりましよう。その よこに  
ただしい かきじゆんで その すうじを れんしゆう しま  
しよう。




① ↓ 1		
-------------	--	--




① ↙ 6		
-------------	--	--




① ↘ 2		
-------------	--	--




① ↓ ② → 7		
-----------------------	--	--




① ↘ 3		
-------------	--	--




① ↘ 8		
-------------	--	--




① ↘ ② ↓ 4		
-----------------------	--	--



① ↙ 9		
-------------	--	--



① ↓ ② → 5		
-----------------------	--	--



① ↓ ② ↘ 10		
------------------------	--	--

# さじべえいぞ

ようび

「あしたも、あめは 降りそうにない。これでは、いどみずも かれて しまう。」  
まっかな ゆうやけぞらを ながめながら、  
きょうも さじべえさんは、ためいきを ついて います。

にち

重原しげはらの むらは、おかの うえに あって、  
ふだんでも みずの すくない ところだす。  
もう ひとつきちかく あめが ふらず、むらの ひとたちは のみみずにも こまっています。

がつ

いくら しんせつで はたらきもの の さじべえさんでも、こればかりは どうしようもありません。

「おたのみもうします……。」  
さじべえさんが ふりむくと、いえの まえに ひとりの おぼうさんが たっていました。



「たびの ものですが、みずを 一いっぱい ごちそうして くださらんか。」

「あいにく、くみおきの みずが なくてのう。」

いちどは ことわった さじべえさんですが、おぼうさんの のどは かわききって いるようです。

「まっついて いて ください。なんとか みずを くんでき ましょう。」

さじべえさんも、かわいた のどを ならしながら、こしを のばして とおくの いどま で かけて いきました。

ゆうやけぞらが うすれて、あたりが だんだん くらくなつて きました。

「やれ やれ。おまたせ しましたな。それ、 たんと のんで くださいや。」

「これは、これは。ごちそうに なります。」  
おぼうさんは、おいしそうに おとを たてて、のみほしました。

ようび

にち

がつ

「ああ、いきかえりました。ごちそうに なり

ました。ところで、ずいぶん ながく か

かりましたが、どうなされた。ごめいわく

を かけたのでは ありませんか。」

さじべえさんは、「なんの なんの。」とい

いながらも、いどが とおい ことや、みずが

へって くみあげるのが たいへんな ことを、

えんりよがちに はなしました。

「それは たいへんでしたな。あちこちで、み

ずが ないといつて ことわられましたの

に、あなたは しんせつな おひとじゃ。」

おぼうさんは そう つぶやくと、なにか

おいのりを はじめました。

そして、もっていた つえで、じめんを ト

ントんと たたきました。

すると、ふしぎにも、そこに みずが にじ

み、あとから あとから、どんどんと あふれ

だして きたのです。さじべえさんは、おどろ

いて こえも ませんでした。

「こんな うまい みずは はじめてじゃ。」

「あめが ふらなくても、ここの みずは

ちつとも へらんのう。」

むらの ひとたちが あつまると、その い

どの うわさばなしです。

「あれは、ただの おぼうさんじゃ ないぞ。」

「うわさに きいた 弘法こうぼうさままでは…。」

それから、むらの ひとたちは、だれにでも

しんせつに なりまし

た。そして、さじべえ

さんに かんしゃを

して、いどに 「さじべ

え いど」という な

まえを つけました。

（「おはなし あいちのでんせつ」4

愛知県教育振興会より）



●よみおわったら したの□に ○を かきましよう。 □

# 「や」のじをなぞりましょう。

## ①

えをみて、のじをなぞりましょう。  
 また、うえのことに「　」や「　」を  
 たして、ちがうことにへんしんさせ  
 ましょう。

ようび

(1)

く  
し

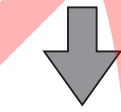





にち

(2)

は  
ね



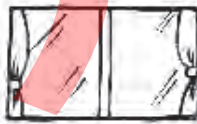



がつ

(3)

か  
ら  
す



(4)

て  
ん  
き






(5)

ひ  
ざ






『ことばのきまり』  
 「にぐるおん」のもんだいにも  
 ちょうせんしてみよう。



がつ                  にち                  ようび

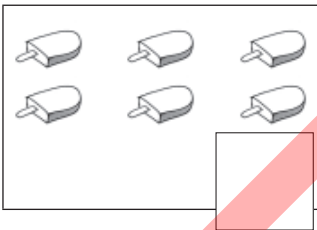
# いくつあるかな

1 すうじの れんしゅうを しましょう。

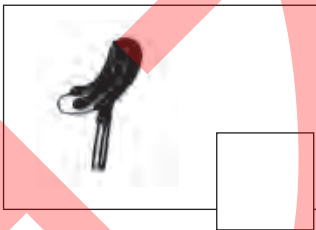
↓ 1	↶ 2	↶ 3	① ↓ ② ↓ 4	① ↓ ② → 5	↶ 6	① ↓ ② → 7	↶ 8	↶ 9	① ↓ ② ↶ 10

2 かずを かぞえて, □に すうじを かきましょう。

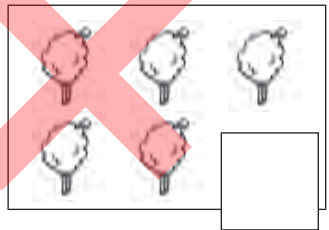
(1)



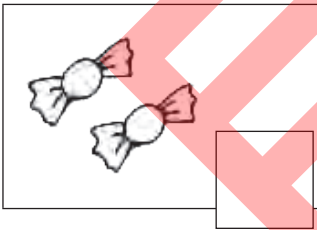
(2)



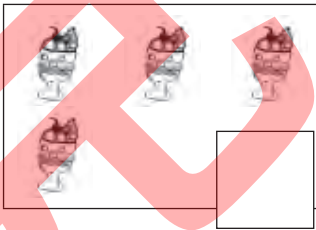
(3)



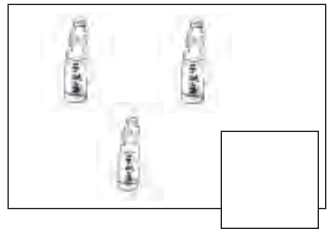
(4)



(5)



(6)



(7)



(8)

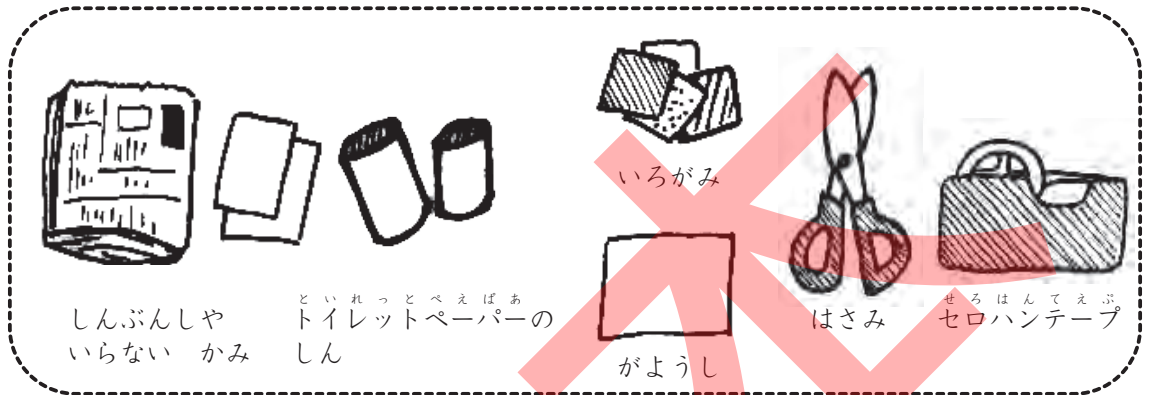


(9)

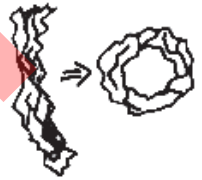


# つくってあそぼう

## しんぶんしで つくる なつの わなげ



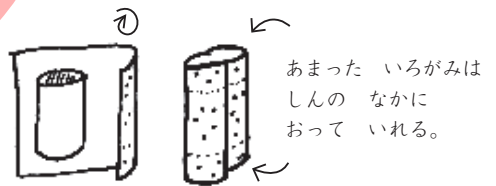
(1) しんぶんしや いらない かみを ねじって  
まるめて、わっかをつくりま



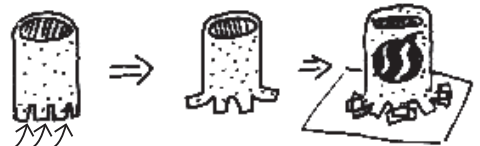
(2) わっかに いろいろがみを まきます。



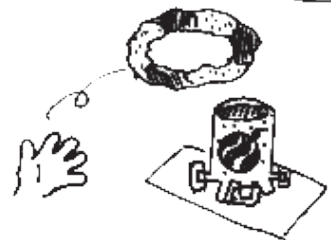
(3) トイレットペーパーの しんに  
いろいろがみを はりつけま



(4) しんの かたほうに きれめを  
いれます。がようしの うえに  
セロハンテープで とめます。



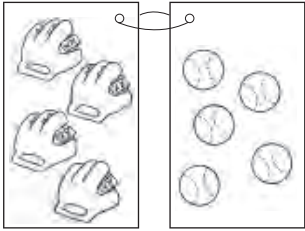
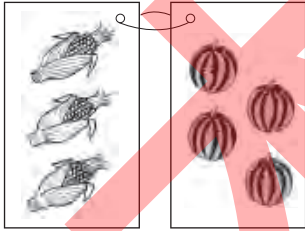
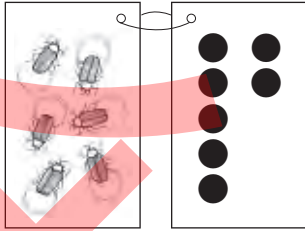
(5) しんぶんしの わっかを つかって、  
あそびましよう。

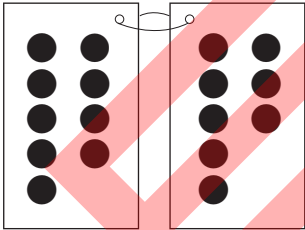
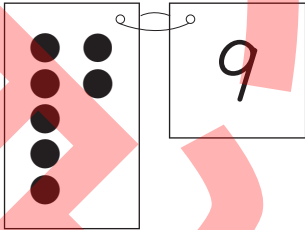
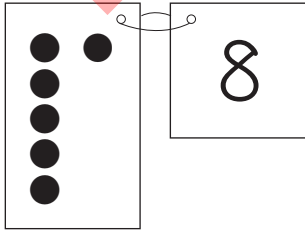


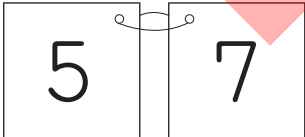
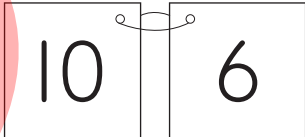
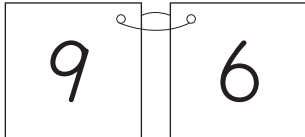
# どちらがあいかな

おおい ほうの ( ) に ○ を つけましょう。

○ を つけた もじを したの ひょうに じゅんばんに かくと ことばに なります。

(1)  (2)  (3)   
 ね ( ) わ ( ) つ ( ) く ( ) を ( ) わ ( )

(4)  (5)  (6)   
 く ( ) し ( ) ひ ( ) な ( ) こ ( ) つ ( )

(7)  (8)  (9)   
 ほ ( ) ま ( ) つ ( ) た ( ) り ( ) い ( )

○ を つけた もじを じゅんばんに かくと

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

に なります。

# なつを げんきに!

あつくても げんきに べんきょうしたり あそんだり していま  
すか。まもれたら みぎの えに すきな いろを ぬりましょう。

	<p>はやね はやおきを しよう はやね はやおきを して きそく ただしい せいかつを しましょう。</p>	
	<p>すききらい しないで たべよう あさ・ひる・よるの しょくじを しっかり とりましょう。</p>	
	<p>はを たいせつに しよう たべたあとや ねるまえには わす れずに はを みがきましょう。</p>	
	<p>からだを ひやさないように しよう エアコンの かぜが ちよくせつ あたらないように しましょう。</p>	
	<p>ねっちゅうしょうに きを つけよう こまめに のみものを のんで そとに でる ときは ぼうしを かぶりましょう。</p>	

なつを げんきに すごして、ぜんぶ いろが ぬれると  
よいですね。



がつ

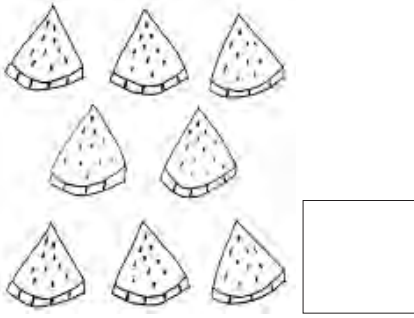
にち

ようび

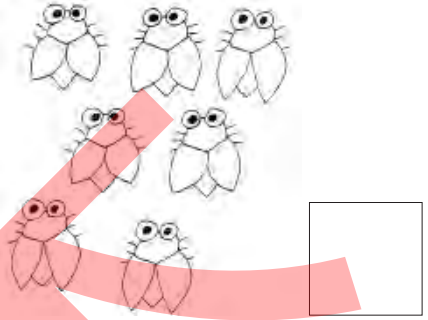


1 かずを すうじて かきましょう。

(1)



(2)



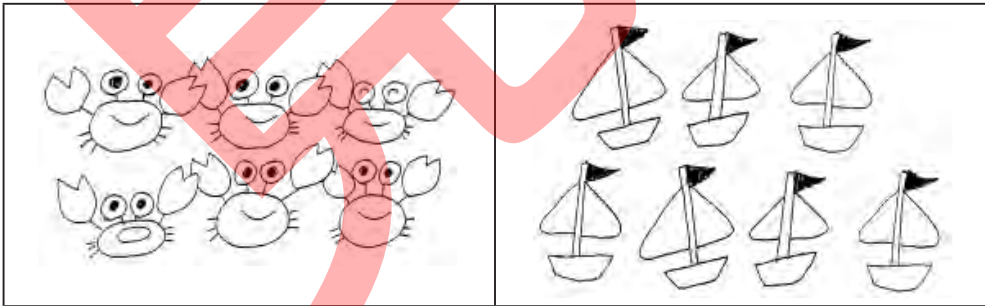
(3)



2 おおい ほうの ( ) に ○ を つけましょう。

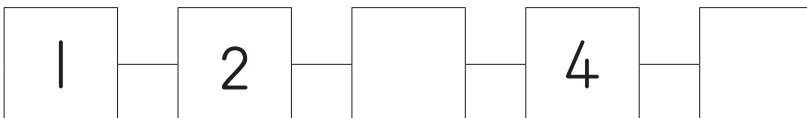
( )

( )

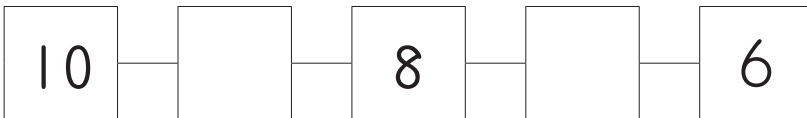


3 □ に はいる かずを かきましょう。

(1)



(2)



がつ

にち

ようび

ちいさい「や」「ゆ」「よ」「つ」



き  
よ  
う  
り  
ゆ  
う



き  
き  
ゆ  
う



ら  
つ  
ば



じ  
よ  
う  
ろ



き  
つ  
て



ぎ  
ゆ  
う  
に  
ゆ  
う



し  
よ  
つ  
き



か  
つ  
こ  
う



ら  
つ  
こ

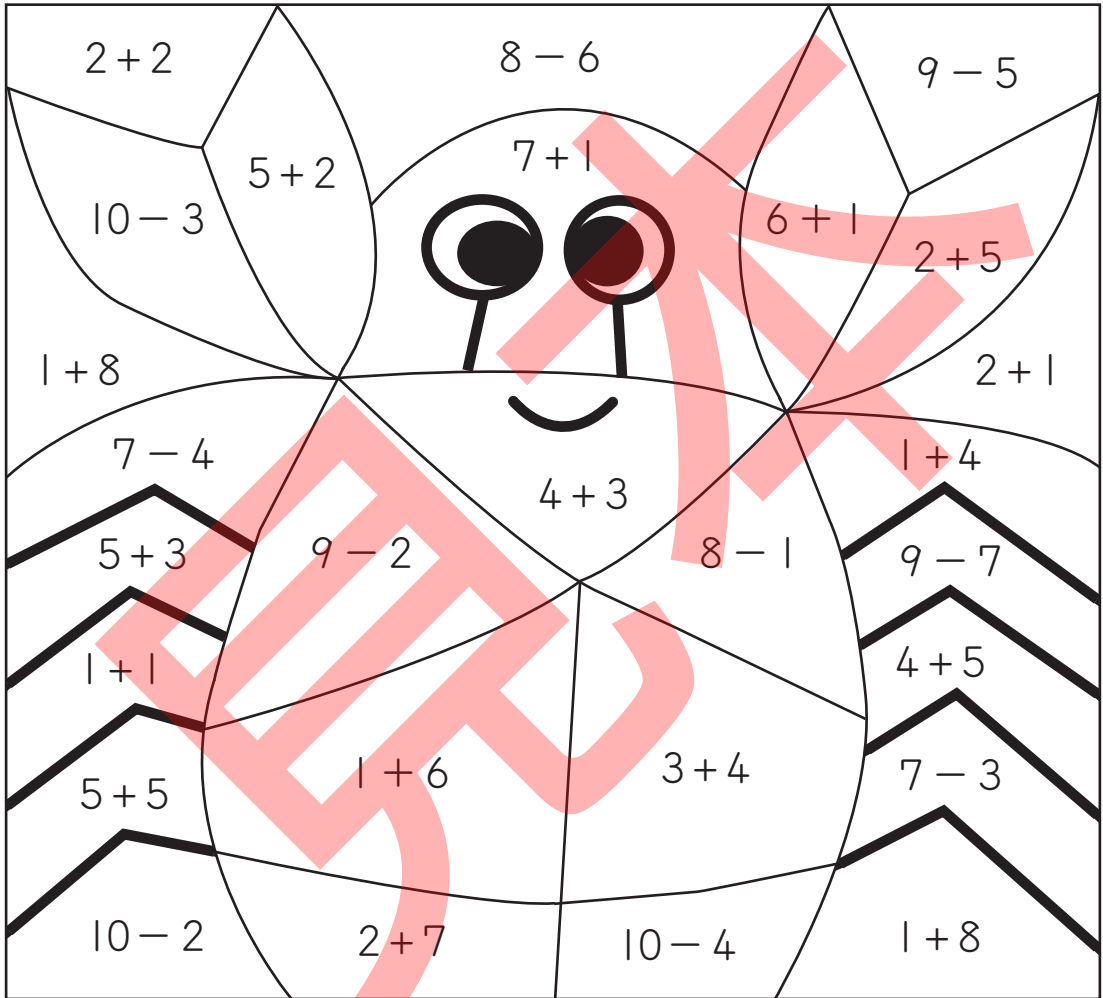


と  
じ  
よ  
う

ちいさく かく じの □に いろえん  
びつで すきな いろを ぬりましょう。

# なんだろうな

こたえが 7 になる ところに いろを ぬりましょう。



かくれている いきものは


です。

# あいうえおのうた

ようび

くちの かたちに きを つけて おおきな  
こえて なんかいも よみましよう。

にち

あさひが あかるい あいうえお

がつ

かえるの かけっこ かきくけこ  
さるくん さそって さしすせそ

たこあげ たかいぞ たちつてと  
ならんだ ながぐつ なにぬねの



じぶんで ◎や ○を つけましよう。

よく できた◎ できた○

くちの かたちに きを つけて よみましたか。	
おおきな こえて よみましたか。	
なんかい よみましたか。	かい

はなびが はなやか はひふへほ



まんげつ まんまる まみむめも



やぎさん やまみち やいゆえよ

らくだも らんらん らりるれろ



わははは わらうよ わいうえを ん



# ふえたり

# へったり

えをみて  に すうじを かきましょう。

5ひきで なかよく

あそんで  
いました。



3びき かえたので  
のこりは

ひきに  
なりました。

そこへ

5ひき きたので

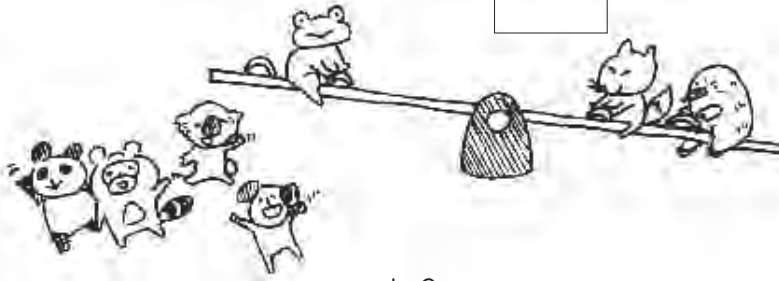
あわせて

ひきに

なりました。



4ひき かえたので のこりは  びきに なりました。



# た

ただしい ほうに ○を つけましょう。

ようび

(1) ① ( ) おとうとが おおきく くちを あけます。

② ( ) おとうとが おうきく くちを あけます。

(2) ① ( ) はたしは はしるのが はやい。

② ( ) わたしは はしるのが はやい。



にち

(3) ① ( ) へやえ おもちゃを もって いく。

② ( ) へやへ おもちゃを もって いく。

(4) ① ( ) はとは しょつきを つついた。

② ( ) はとは しょつきを つついた。



がつ

(5) ① ( ) にちようびに ゆうえんちへ いく。

② ( ) にちようびに ゆうえんちえ いく。

(6) ① ( ) おにいさんわ へきへ いく。

② ( ) おにいさんは えきへ いく。



(7) ① ( ) おとうさんが ほおきて そおじを する。

② ( ) おとうさんが ほうきて そうじを する。

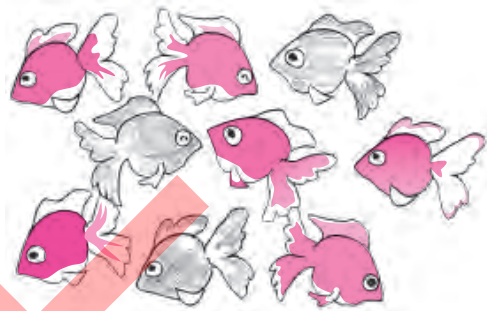
(8) ① ( ) あるまじろわ みお まもる。

② ( ) あるまじろは みを まもる。



# たしかめよう

1 あかい きんぎょが 6匹き、  
くろい きんぎょが 3匹き  
います。



(1) あわせると なんびきですか。

しき \_\_\_\_\_ こたえ ( \_\_\_\_\_ ひき)

(2) ちがいは なんびきですか。

しき \_\_\_\_\_ こたえ ( \_\_\_\_\_ びき)

2 くじが 10ぽん あります。はずれは 7ほんです。  
あたりは なんぽんですか。

しき \_\_\_\_\_  
こたえ ( \_\_\_\_\_ ぽん)



3 いぬが 9ひき、ねこが 4ひき います。  
どちらが なんびき おおいですか。

しき \_\_\_\_\_  
こたえ ( \_\_\_\_\_ ) が  
( \_\_\_\_\_ ひき ) おおい



# なんばんめ



1 みぎの えを みて こたえましょう。

(1) くまは うえから  ばんめです。

(2) とりは したから  ばんめです。

(3) うえから 2ばんめは  です。

2 したの えを みて こたえましょう。



りんご



ピーマン



たまねぎ



しいたけ



すいか



ぶどう

(1) すいかは みぎから  ばんめです。

(2) たまねぎは ひだりから  ばんめです。

(3) みぎから 3ばんめは  です。

3 いろを ぬりましょう。

(1) まえから 3だい

まえ



うしろ

(2) うしろから 4だいい

まえ



うしろ

# おおきなハンズ

## よんでみよう



ようび  
はつきりと よみましよう。  
くちの かたちや くぎりに  
きをつけて

いち  
はやくちことば...できるだけ  
はやく  
よもう。

にち  
**三きゆう**  
・すももも ももも もものうち  
・なまむぎ なまごめ なまたまご  
・となりの きやくは よくかき  
くう きやくだ

がつ  
**一きゆう**  
・ぼうずが びょうぶに  
じょうずに ぼうずの  
えを かいだ



二 さかさことば...うえからも したからも  
よんで みよう。

**三きゆう**  
・やおや ・とまと ・きつつき  
・しんぶんし ・るすに する

**一きゆう**  
・たいやき やいた  
・やすい いすや  
・アニマル マニア



**一きゆう**  
・わたし まけましたわ  
・にわとりと ことりと わに  
・やくに たったに くや  
・イカの ダンスは すんだのかい



☆きいてくれた ひとに つけて もらいましょう。

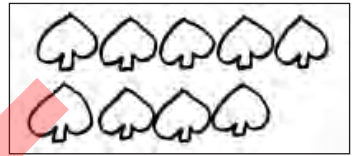
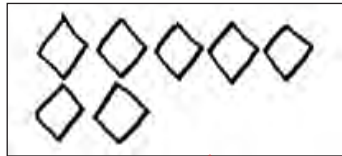
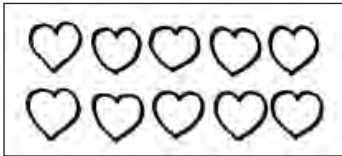
よく できた◎ できた○

おおきな	こえで	よめましたか。	
ただしく	よめましたか。		



# 10までのかず

1 おなじ かずを —で つなぎましょう。



9

10

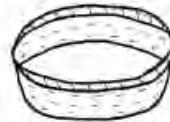
7

2 □にあてはまる かずをかきましょう。

(1) さかなの かず



(2) みかんの かず



3 おおきい ほうに ○をつけましょう。

(1)



( )

( )

(2)



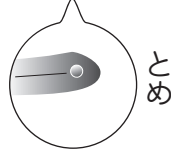
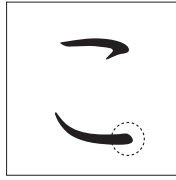
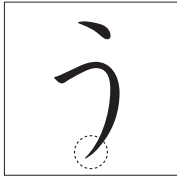
( )

( )

がつ

にち

ようび



# かくの おわり

た	そ	か	お	う
こ	う	ら	だ	と
や	め	あ	ん	ん
き	ん	げ	こ	

かくの おわりに きを  
つけて かきましよう。

うえの もじを  
なぞって から かこう



がつ

にち

ようび



(9)

は
ん
あ



(7)

う
き
ん



(5)

は
な



(3)

ん



(1)

か
い
ら

# ひらがな。②



(10)

り
ん



(8)

す
と



(6)

れ
す



(4)

え
ん
つ



(2)

の
こ
り

えをみて、  
 ひらがなを かいて なぞりましょう。  
 の なかに あてはまる

# たのしい あそびが いっぱい



## しゃぼんだま

いろいろな どうぐを つかって  
しゃぼんだまを つくって みよう！

【つかう どうぐ】

- ・ストロー
- ・だんボール
- ・トイレットペーパー  
の しん
- ・ぎゅうにゅうパック
- ・うちわの ほね



【しゃぼんだまえきの ざいりょう】

- ・ちゅうせいせんざい
- ・みず
- ・せんたくのり  
(おうちの ひとと そうだんして つくろう)

## みずでっぼう

マヨネーズなどの ようきを つ  
かって みずでっぼうを つくって  
みよう！

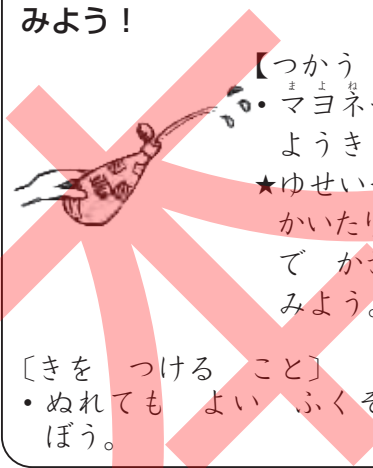
【つかう どうぐ】

- ・マヨネーズなどの  
ようき

★ゆせいペンで えを  
かいたり、いろテープ  
で かざったり して  
みよう。

【きを つける こと】

- ・ぬれても よい ふくそうで あそ  
ぼう。



## こおりの たまご

みずふうせんを こおらせて こお  
りの たまごを つくって みよう！

【つかう どうぐ】

- ・みずふうせん
- ★ちいさい おもちゃ  
(ビーズや おはじ  
きなど)を 入れる  
と きれいだよ。



【きを つける こと】

- ・みずふうせんは くちを しっかり  
しばってから こおらせよう。
- ・おもちゃを むりに 入れると  
みずふうせんが やぶれてしまうよ。

## いろみず あそび

いろいろな いろの いろみずを  
つくってみよう！

【つかう どうぐ】

- ・ペットボトル
- ・はなびら
- ★いろがみや えのぐ  
でも つくる こと  
が できるよ。



【きを つける こと】

- ・いろみずは くちに 入れては  
いけません。
- ・よごれても よい ふくそうで  
あそぼう。



『NHK for School』  
すたあと  
「しゃぼんだまをつくろう」の  
どうがを みてみよう！



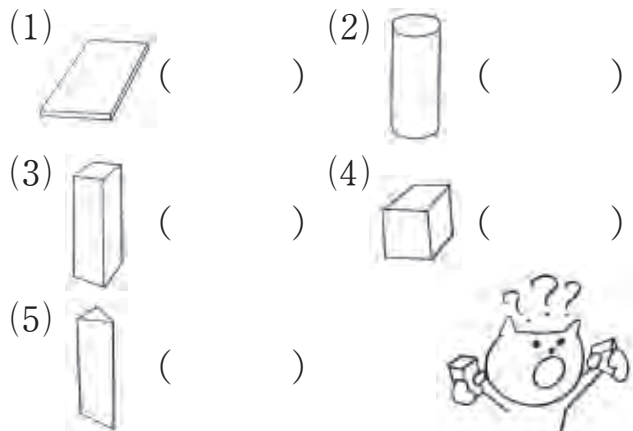
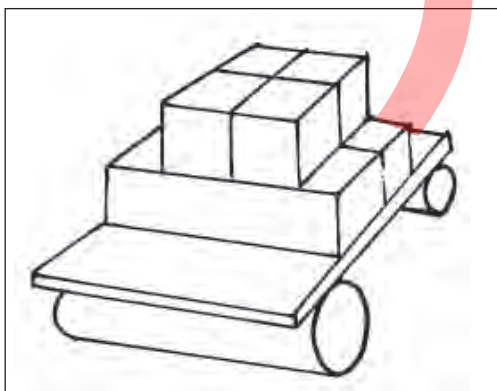
『NHK for School』  
すたあと  
「いろみずけんきゅうじょ」の  
どうがを みてみよう！

# にているかたち

1 ひだりの かたちに いちばん よく にている ものを  
○で かこみましょう。



2 つみきを つかって したの かたちを つくりました。  
つかった つみきに ○を つけましょう。

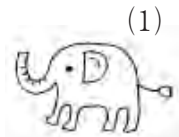
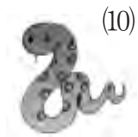




がつ

にち

ようび

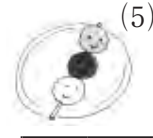
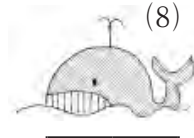
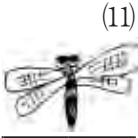


Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.

Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.

Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.

Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.



Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.

Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.

Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.

Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.



Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.

Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.

Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.


Handwriting practice box with a dashed midline and a solid top and bottom line.


◆えをみて、「     」や「     」のつくことばをかきましょう。


# ひゃ。のんじョ③


# 10はいくつといくつ

1 さるくんが 10こ おはじきを もって います。さるくんの にぎっている てには いくつ おはじきが ありますか。


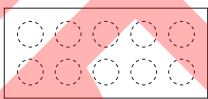
(1)   つ

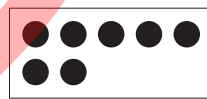
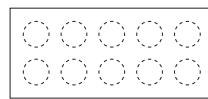
(2)   つ

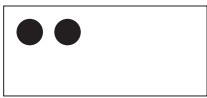

(3)   つ


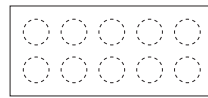
(4)   つ

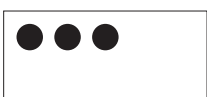
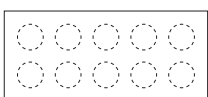
2 10に なるように ○に いろを ぬりましょう。( )に かずも かきましょう。

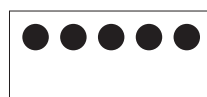
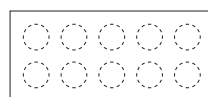
(1)  と   
4 と ( )

(2)  と   
7 と ( )

(3)  と   
2 と ( )

(4)  と   
1 と ( )

(5)  と   
3 と ( )

(6)  と   
5 と ( )

がつ

にち

ようび

(5)

お

□

さま



(4)

おね

□

さん



(3)

おに

□

さん



(2)

おか

□

さん



(1)

おと

□

さん



うとばづくい

(10)

れ

□

ぞ

□

こ



(9)

かき

□

り



(8)

お

□

かみ



(7)

ほ

□

き



(6)

ふ

□

せん



あてはまる ひらがなを かきましよう。

のばす おんに きを つけて、 □ に

# たのしいお勉強

かき、おおきな こえて よみましょう。  に あてはまる ただしい もじを

ようび

(1)

ぼく

は・わ

え・へ

き

え・へ

おじいさん

お・を

むか

え・へ

に

いきました。

(2)

おと

う・お

とと

え・へ

いが

お・を

みて、

え・へ

か

え・へ

りました。

にち

(3)

とけ

い・え

をみたら

う・お

じの

じかんだったので、

お・う

いと

がつ

へ・え

や

お・を

きれいにしました。

(4)

と

う・お

くの

お

う・お

きな

お・を

しろに

お

う・お

じさまが

います。

(5)

は・わ

たし

は・わ

か

は・わ

いい

う・お

し

お・を

もって、

え・へ

んそく

え・へ

でかけました。



# たしざんとひきざん ①

カードの うらに こたえを かきましょう。

おもて

うら

おもて

うら

(1)

$8 + 2$

(2)

$4 - 1$

(3)

$4 + 3$

(4)

$10 - 6$

(5)

$2 + 1$

(6)

$6 - 4$

(7)

$6 + 4$

(8)

$9 - 8$

(9)

$9 + 1$

(10)

$5 - 2$

(11)

$5 + 4$

(12)

$7 - 3$

(13)

$7 + 2$

(14)

$8 - 4$

(15)

$3 + 5$

(16)

$3 - 1$

(17)

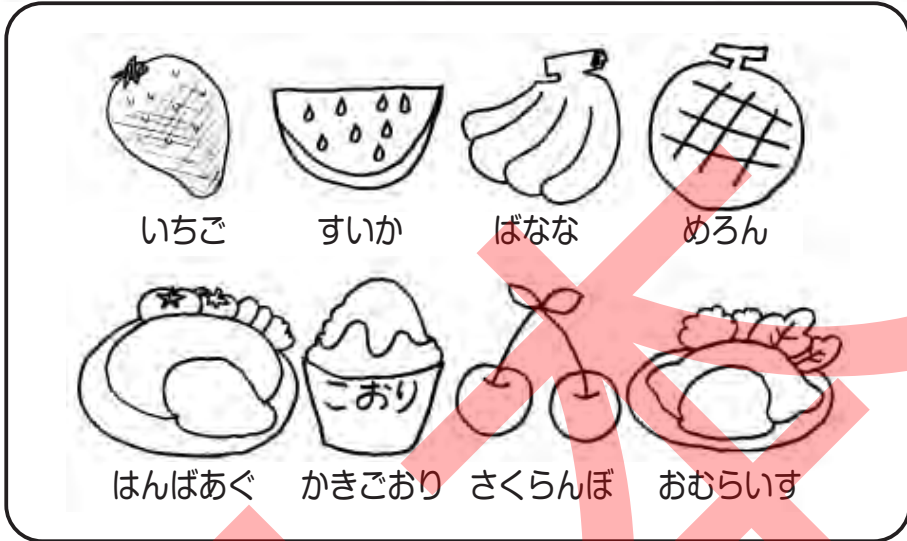
$1 + 4$

(18)

$2 - 1$

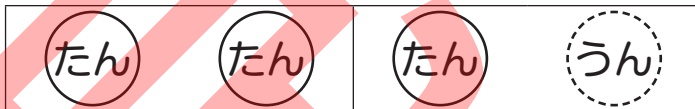


# ことばて りずむ



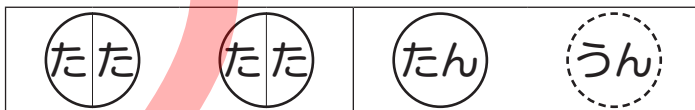
♪ことばにあわせて、㉔と㉕のりずむをててうちましよう。

㉔ 3もじのことば  
《れい》 す い か



はく ● ● ● ●

㉕ 5もじのことば  
《れい》 かき ごお り



はく ● ● ● ●

♪きいてくれたひとにつけてもらいましよう。

よくできた ◎ できた ○

りずむにのってたのしくてびょうしができた。

えらんだことばにあわせてたたくてびょうしができた。

がつ

にち

ようび

# ぶんを

# つくろう

えをみてぶんをつくりましょう。



(5)

(4)

(3)

(2)

(1)

(れい)

きつね

とり

さる

いぬ

ねこ

うさぎ

が

が

が

が

が

が

はねる。

がつ

にち

ようび

でんしゃ (7)




しやしん (5)




きんぎょ (3)




やきゅう (1)




かいじゅう (8)




べんきょう (6)




にゅうがく (4)




じゃんけん (2)




ちいさくかくじ

ちいさく かく じも おおきく かいて  
あります。ただしく かきましよう。

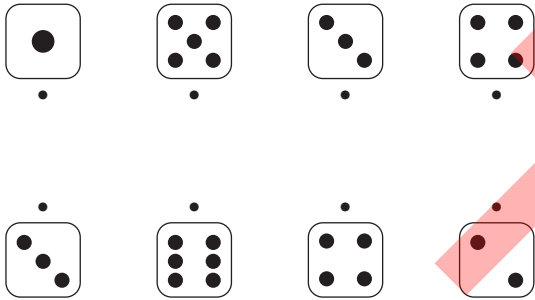
がつ

にち

ようび

# いくつといくつ

1 うえの ・ と したの ・ を — で つないで 7 に しましょう。



2 いくつと いくつですか。えを みて こたえましょう。



3 あと なんこで 10 こに なりますか。



4 あと なんびきで 10 びきに なりますか。



# 金色のサクラ



ようび

にち

がつ

「いったい、いつになつたら、いくさは

おわるものか。」

「寺の本どうも、やけおちたままだ。本  
に かなしいのう。」

「ほとけさまも おられないのでは、あんし  
んして くらすことが できん。」

三河の国、今村の、田んぼ道で、専超寺の  
真良さんが、村人たちと 話して います。

長い、いくさで、だれもが、こまりはて、

ためいきばかり ついて いました。

新しい お寺を たてよう。そして、ほとけ  
さまを おむかえしよう。真良さんは、そう

かたく 心に きめました。

「どうか、本どうを たてるために、お力を  
かして ください。」

それから、あちこちの 村に 真良さんの  
すがたが ありました。

雨の日も、風の日も、真良さんは 頭を  
下げて、たのみつづけました。

その ねっしんさに 心を うたれ、村人  
たちも 少しずつ うごきはじめました。

だんだん お金も あつまり、やがて、お寺  
を たてる日が きました。

「おい、あれは 何じゃ。」

大きな 声が しました。村人たちが、くわ  
や すきを もって、地めんを ならそうと、

あつまつた 時の ことです。

村人の ゆびさした ところを 見ると、  
土が 少し もり上がって います。しかも、

ぼうつと 光って いるのです。

「ふしぎな ものが うまって いるぞ。」  
おそろおそろ、一人が ほりはじめました。

ほるたびに、まぶしく なって いきます。  
カチツと、何かに 当たる 音が しまし

た。  
「おお。これは ほとけさまだあ。」



ようび

真良さんが かけよりました。水で あらって あげると、やさしい お顔が あらわれました。

「ありがたいことじゃ。新しい お寺に 自分 の ほうから 来てくださった。」  
みんな、うれしそうに うなずきました。

秋が 来て、冬が すぎ、春と なりました。

にち

りっぱに できあがった 本どうを 見上げながら、真良さんが 言いました。

がつ

「ほとけさまが 出てこられた、ありがたいところを だいに したいものなの。」  
「だれかが ふまないように、目じるしになるものを うえたら どうだろう。」

「何が よいかのう。」

それで、一本の サクラの木を うえる

ことに しました。

村人たちは、ほとけさまに おまいりするたびに、この 木にも 手を 合わせました。

一年が たちました。また 春が 来て、サクラの 花が さきはじめました。

「おお、あの 花の色は……。」

「金色だ。まるで 光って いる みたいだ。」

「ほとけさまの 光のようじゃ。」

あつまって きた 村人たちは、金色に

かがやく サクラに うっとりしました。

「これから、何か いいことがあるような

気が するのう。」

「今年、きつと 米も 麦も ほう作に

なるに ちがいない。」

「さつそく、お花見を しようじゃないか。」

金色の サクラの花の下で 村人たちの 明るい わらい声がつづきました。

（おはなし あいちのでんせつ 5

愛知県教育振興会より）

●よみおわったら したの□に ○をかきましよう。



# かずのおてがみ



せんせいに おてがみが とどきました。けいさんを して  
したの「こたえの もじ」を いれましょう。

ぼくは、どようびの よるに

2+1	4+6	8-6	2+2	3+2	4+3	9-4
は						

に いきました。

おおきくて とても きれいでした。

ゆうすけ より



わたしは、おまつりで

9-2	10-2	2-1	10-1	2+4

を たべました。

とても おいしかったです。

さやか より

## 「こたえの もじ」

1	2	3	4	5
ご	び	は	た	い
6	7	8	9	10
り	か	き	お	な

おなじ「こたえの もじ」を  
2かい つかう ことも あるよ。



がつ

にち

ようび

	き	わ
み		



こ  
と  
ば  
あ  
ま  
が

や			く
---	--	--	---



				り
--	--	--	--	---



し	い	
	い	



ぶ



	ぼ
し	



ひらがなをかきましよう。

えをみて [ ] にあてはまる

がつ

にち

ようび



す



し






う



ね






ち



く






い






えをみて しりとりを しましょう。

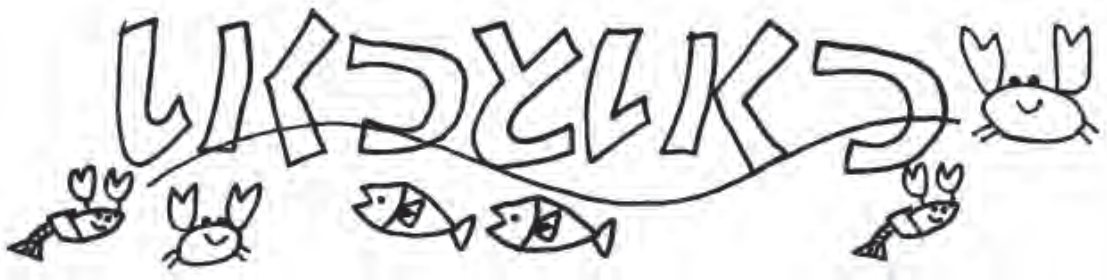


『ちびむすドリル』  
「しりとり」にも  
ちょうせんしてみよう。

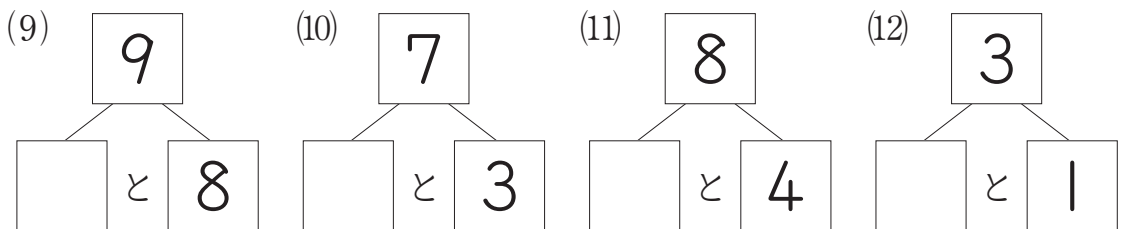
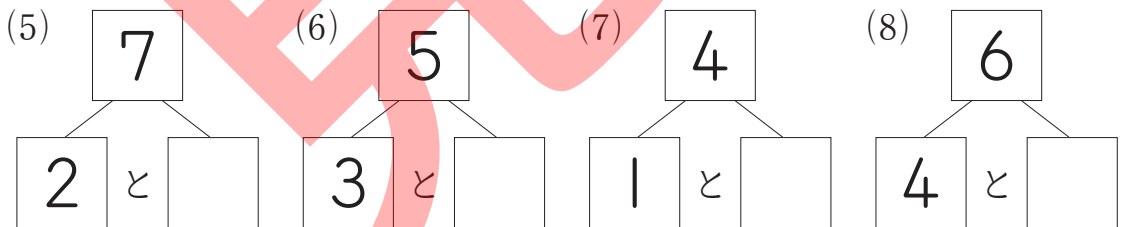
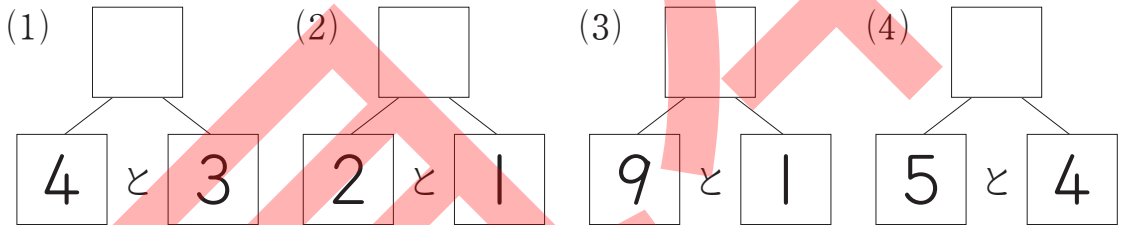
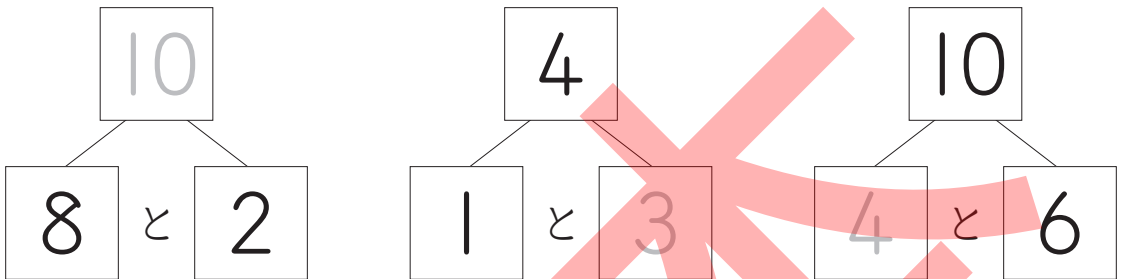
がっ

にち

ようび



□に あてはまる かずを かきましょう。



# ことばあそび



ようび

えをみて  
かきましよう。



に あてはまる

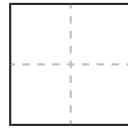
ひらがなを

かけたから  
ひだりから  
じゅんばんに  
よんでみましょう。

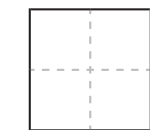
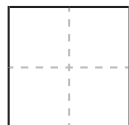
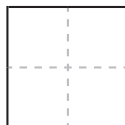
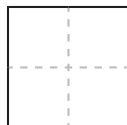
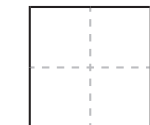
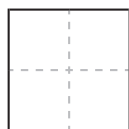
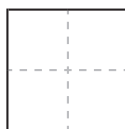
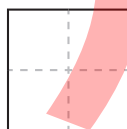
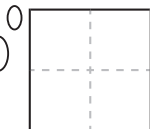
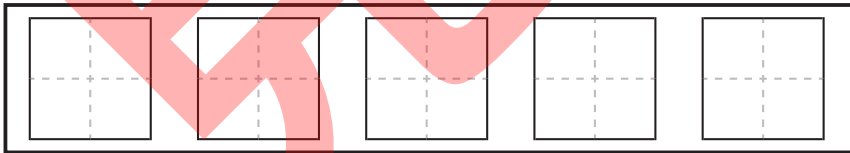
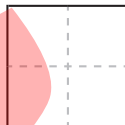
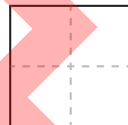
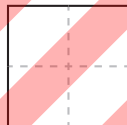
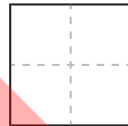
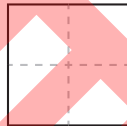
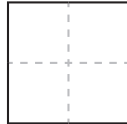
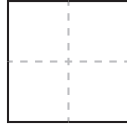
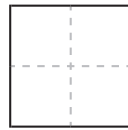
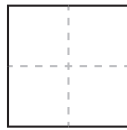
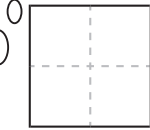
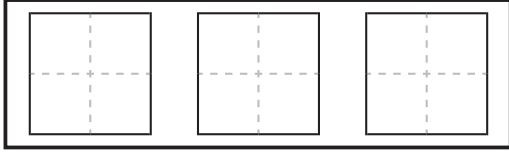
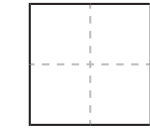


で かこまれた  
ところを

にち



がつ



ひんと

だいたいいろいろの  
あまずつぱい  
くだもの

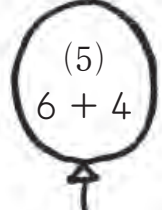
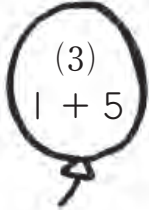
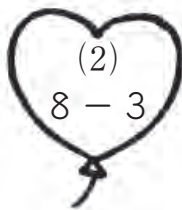
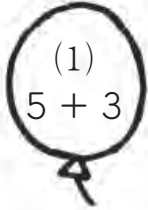
ひんと

はなびや きんぎよすくい  
たのしめる このきせつの  
ぎょうじ  
などが

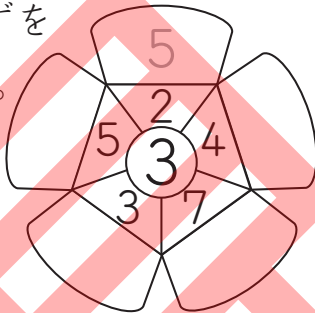


# たしざんとひきざん ②

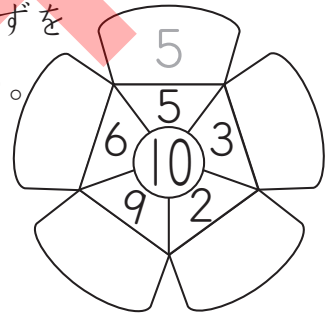
1 しきと こたえが あうものを せんで おすびましょう。



2 まんなかの かずに そと がわの かずを たしましう。



3 まんなかの かずから そと がわの かずを ひきましう。



4 おはなしを よんで しきと こたえを かきましう。

(1) ひよこが 4わ うまれました。さらに 3わ うまれました。ぜんぶで なんわに なりましたか。



しき

こたえ  わ

(2) 10まいの くじが あります。あたりは 3まい です。はずれは なんまい ですか。



しき

こたえ  まい

# なつとなかよし

たのしい なつやすみです。

あなたは なつと なかよく して  
いますか。

したことを えで かきましょう。



だい むしとりを したよ



だい



# なつやすみを ふりかえって

なつやすみの せいかつの ようすを ふりかえって みま  
しょう。◎ ○ △を □の なかに かきましょう。

よく できた…◎ まあまあ できた…○ あまり できなかった…△

1 はやおきが できましたか。

2 あさごはんを たべましたか。

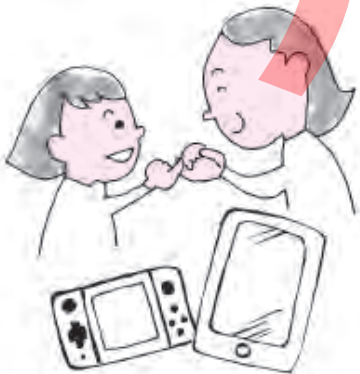




3 <sup>げえむ</sup>ゲームや <sup>たぶれっと</sup>タブレットなど

4 はやく ねましたか。

の やくそくを まもれましたか。





さいてくれ

# ぼくのアサガオ

蒲郡 三谷東小・一

ふじた あつと

えいとのアサガオがさいた  
きょうしつの中を  
はしりまわってよろこんでいる  
えいとよかったね

つぎの日  
二人さいた  
おめでどう  
あしたはぼくかな

なん日かして  
また二人  
つぎの日三人  
あしたこそぼくかな  
はやくぼくのもさいてほしい

アサガオカードに

いろをぬるじかん

ぼくはゼロだからぬれないんだ

おえかきでもしていよう

まださいていなかった

さくやのアサガオが

一こさいた

さくやよかったね

でもすこしくやしい

さいていないのは

ついにぼくだけ

もうさかないのかな

アサガオカードをかく

さいこの日

ぼくのカードはゼロだらけ

まっ白なまま

なみだがでそう

なつ休み

アサガオがいえにきた

いえならさくかのうせいがある

たくさんおせわするぞ

ついにこの日が出てきた

あさ にわを見てみたら

むらさき一ことピンク二こ

なんと三こもさいている

やったやった

やっとなさいたぞ

まっただぞ

こんど学校にいったら

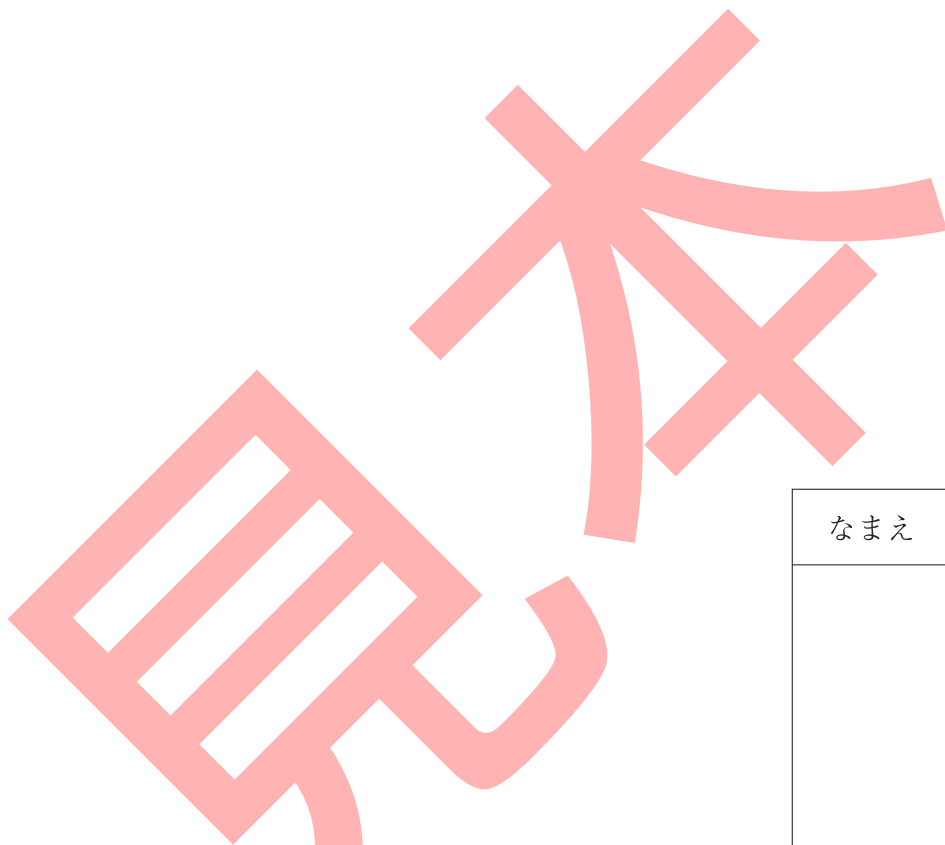
れい先生にはなそう

えいととさくやにはなそう

みんなにはなそう

きつとよろこんでくれるぞ





なまえ

令和6年度版 なつやすみ 1年

編集 「夏休み日誌」編集委員会  
三河教育研究会

刊行 公益財団法人  
愛知教育文化振興会  
〒444-0868  
岡崎市明大寺町字馬場東170番地1  
電話 (0564)51-4819

印刷 株式会社 岡田印刷

※無断で複写・複製することを禁じます。